

2-① こんな時、どうする？

■対象：幼児～中学生をもつ親 ■時間：50分程度 ■手法：即答フリップ方式全員参加型ディスカッション

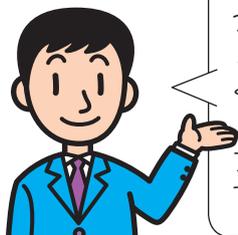
学習のねらい 子どもたちの具体的な生活場面の問いに対して、自分ならどうするかを考え、大人（親）としての社会的な役割に気づく。

準備するもの A5用紙〔6枚×参加者数〕 バインダー マーカー 質問掲示 など

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、わが子を取り巻く周りの子どもたちへのかかわり方について、具体的な生活場面から、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。 では、まずは、みなさんと一緒に遊びから入っていきましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①バースデーチェーン（親学プログラムP100） 〔グループ分け〕</p> <p>②ジャンケンリレー（P100）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「誕生日順」「会場から近い順」「何歳からやり直したいか順」など、いくつか組み合わせて展開する。 ・4人ずつのグループをつくる。 	
30分	<p style="text-align: center;">《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①ワークの説明を聞く ②質問を聞いて、思いついたことをフリップに記入する ③フリップを見せ合い、グループで話し合う ※②～③を繰り返す ④まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《質問例 … 小学生の子をもつ親》</p> <p>① 私は一見〇〇ですが、実は□□です ② 我が子の友だちが勝手に冷蔵庫をあけている ③ 近所の小学生たちが集団で猫をいじめている ④ ボールを使ってはいけな公園で、小さい子どもたちが遊んでいるところに、中学生たちがやって来て野球をはじめた</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問1は、アイスブレイクとして、自己紹介につながるものにする。 ・状況に応じて、話し合いの様子を紹介したり、代表が発表したり、全体で確認したり、臨機応変に対応する。 ・対象の子どもの発達段階に応じて、質問内容を変更する。 	<p>A5用紙（質問数） バインダー マーカー 質問掲示 ※スライドに映してもよい</p>
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①よその子とのかかわりについて、気づきや考えを書く ②グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリップ方式の最終質問をふり返りとする。 ・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。 	
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？子どもは、周りを取り巻く集団の中で、毎日生活し、成長していきます。それは、われわれ大人も同じことですね。 みなさんのお子さんを取り巻く周りの子どもたちに対して、よりよいかかわり方することも、親としての大事な責任ではないでしょうか。地域の大人みんなで、地域の子どもたちを育てていく環境をみなさんのお力をつくっていきけるといいですね。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

2-① こんな時、どうする？

① ワークの説明を聞く（3分）



（4～5人のグループをつかって、グループごとにイスに座る。バインダーにA5用紙を質問の枚数だけ綴じて、マーカーとともに配付する。）

それでは、中心のワークに移ります。これから、いくつか質問をします。その質問について、思いついたことや考えたことをできるだけ簡単に、大きな字で、お配りしたA5用紙【フリップ】に書き込んでください。グループのメンバーに見えないようにしてください。

皆さんが書き込まれたところで、私が「せーの!!」と声をかけるので、一斉にフリップを見せ合ってください。そして、時間の指示を出すので、なぜそう書いたのか紹介し合って、時間になるまでテーマについて、話し合ってください。

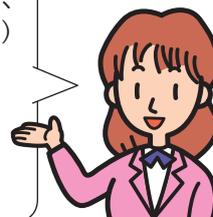
② 質問を聞いて、思いついたことをフリップに記入する

③ フリップを見せ合い、グループで話し合う ②～③を繰り返す（25分）

では、第1問、これは練習です。半分より上に「私は一見〇〇ですが」の〇〇部分を、半分より下に「実は□□です」の□□部分を書いてください。（書かれたことを確認して）それでは、見せ合いましょう。「せーの!!」

では、この1問目を使って、それぞれ自己紹介をしてください。
（グループの話し合い）

時間になりました。グループで代表の方一人、全体に発表してください。



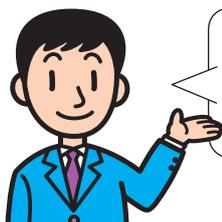
※質問内容や状況により、「グループの代表が発表する」「ファシリテーターが指名した人が発表する」「全員が発表する」「ファシリテーターが紹介する」など、臨機応変に対応する。

《質問例 … 小学生の子をもつ親》

- ① 私は一見〇〇ですが、実は□□です
- ② 我が子の友だちが勝手に冷蔵庫をあけている
- ③ 近所の小学生たちが集団で猫をいじめている
- ④ ボールを使ってはいけな公園で、小さい子どもたちが遊んでいるところに、中学生たちがやって来て野球をはじめた

※細かい状況については、参加者各自で考えるように伝える。

④ まとめ（2分）



（グループの話し合いの様子についてコメントする）

それでは、今日の学習をふり返って、よそのお子さんとのかわりについて、気づいたことや考えたことを最後のフリップに書きましょう。